

榛東中スタンダード 振り返りシート(令和4年度改訂)

めあてから振り返りまでの項目について、自分の授業を振り返ってみよう。

5つの視点	番号は生徒の姿	内容	
		・習得の授業と活用の授業の違いを理解していますか。 研究授業では、活用の授業になっていますか。	
		・単元計画シートは完成できていますか。	
		・生徒の意識を中心とした板書デザインができていますか。	
1	子どもたちは、授業のめあてに関心や問題意識、必要感をもって理解したか。		
	めあて	1	・疑問や驚きの声や表情がありますか。
	あて	2	・発問により、教科の学びに迫ることができていますか。 ○疑問形ではなく、「何をするのか」「何ができるようになれば良いのか」明確にしましょう。 ○しっかりと手書きで板書し可視化しましょう。
2	子どもたちは、問題解決の見通しや期待感をもって活動に取り組もうとしているか。		
	見通し	3	・わくわく感がありますか。
		4	・つぶやきやうなずきが自然と生まれる雰囲気がありますか。 ○次のような発言をできるようにしておきましょう。 何をすればよいかわかりますか。どのようにやりますか。できそうですか。今までどんなふうにしていましたか。
		☆多めあてから、見通しまでの時間は、5分～10分になっていますか。	
3	子どもたちは、グループやクラス全体の対話を通して、協働して問題解決をしているか。		
	学び合い	5	・学び合いに対しての必要感がありますか。
		6	・学び合いはガチャガチャしていますか。
		7	・めあてに迫る対話になっていますか。 ○生徒の意見は可視化しましょう。 言葉と図（非言語）が使えているとよいでしょう。 思考ツールの活用ができるとういでしょう。
4	子どもたちは、めあてと整合性のあるまとめにたどりつけたか。		
	まとめ	8	・めあてと対になり、学習を意識することができていますか。
		9	・学び合いの内容や発言が活かされていると感じていますか。 ○これまで学習してきたことが板書で分かるようにしましょう ○生徒の発言を生かして1時間の学びをまとめましょう。 ○しっかりと手書きでノート等にかかせましょう。
5	子どもたちは、この時間の学びが自分にとって意味や価値があったと自覚しているか。		
	振り返り	10	・気づきの質が高まっていますか。 ○3分から5分の時間を必ず取りましょう。 ○制限（「何文字」「めあてと照らし合わせて」等）は何もつけず「振り返りましょう」だけで振り返らせましょう。
	道徳の授業		○中心発問までの時間を10分以内にしましょう ○資料の提示の工夫をしましょう。 ○中心発問までに10分以上かかりそうなときは、資料の読ませ方を工夫しましょう。（朝の時間や事前に読ませる等） ○研究授業後に、もう一度実践できるクラスを設定しましょう。